

21世紀のまちづくりビジョン——「横芝町基本構想」まとまる

豊かな自然 みなぎる活力

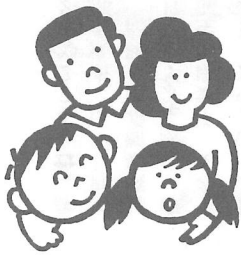
そして…心をつなぐ「まち」

まちのイメージ・カラーは「ペパーミントグリーン」

21世紀を展望したまちづくりの長期ビジョンとなる「横芝町基本構想」が、議会の議決を経て昨年12月にまとまりました。この基本構想は、昭和75年を目標年次として「豊かな自然 みなぎる活力 そして…心をつなぐ「まち」」を基調テーマに、5つの将来像を設定したほか、新たにまちづくりのイメージ・カラーを定めました。今回は新構想の概要を簡単に紹介します。

西暦2000年を目標

人口は2万人を想定



町では、すでに昭和47年に「明るく住みよい横芝町」をめざした基本構想を策定し、これに沿って施策を展開してきましたが、この間オイルショックや成田空港の開港など、町を取り巻く社

会経済状況が大きく変化をとげました。このような背景の中で、これまでの構想をひきついで、21世紀に向けた町の発展方向を見とおしながら、まちづくりの指針としての新たな基本構想を定めることとなったものです。

構想の性格

この基本構想は、これからのまちづくりをすすめていく上での目標と、これを実現していくための基本的な考え方を示したものです。

また、町民と町政の共通目標として、21世紀の町のあり方を示し、町民の皆さんの理解とまちづくりへの積極的な参加を求

めようとする指標ともなるものです。

目標と理念

構想は、昭和75年（西暦2000年）を目標としており、目標年次には人口2万人、6千世帯になるものと想定しています。そして、まちづくりの理念として「豊かな自然」「活力のあるまちの活動」「人と人のつながり」の3点を掲げました。

将来指標

総人口	20,000人
世帯総数	6,000世帯
就業人口	10,000人
農林水産業ほか	1,500人
工業・製造業ほか	3,400人
サービス業ほか	5,100人

基調テーマとイメージカラー

21世紀に向けたまちづくりの基調テーマ（スローガン）を、「豊かな自然 みなぎる活力 そして…心をつなぐ「まち」」とします。

そして、町の恵まれた歴史的



あす 21世紀を築く若いエネルギー